

天守閣の現状

■熊本城天守閣

- 1) 建築物概要 構造規模：鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階地下1階 延床面積 3,068 m²
 (大天守：1,759.34 m²、小天守：1,256.81 m²、続部分：52.15 m²)
 最高高さ：30m (石垣天端) 用途：博物館・展望台 (熊本博物館分館)
- 2) 経緯 M10年 焼失
 S35年 外観復元による再建 (昭和34年4月起工)
 H05年 展示整備・設備改修工事
 H20年 「熊本市建築物耐震改修促進計画」を策定 <建築計画課>
 H22年 市有建築物耐震対策基本方針 <建築計画課>
 →平成27年度までに耐震化の方針を決定する

3) 外部の現状

天守閣の外観については古写真をもとに復元しており、今後もこの外観を維持していくことが必須となるが、現況は外装の木部材、塗装、瓦、瓦目地等の破損が多く見られる。

4) 内部の現状

熊本博物館分館として位置づけられており、1階の重要文化財建造物「波奈之丸」をはじめほとんどの展示については熊本博物館の管理による。展示スペースにおける温湿度調整などの設備が不十分な現状もあり、昨年度より主に2階の永青文庫所有の文化財展示については撤去され、パネル展示が主となっている。また、博物館のリニューアルに合わせ波奈之丸の移転も決定している。

